



# 鶏 けいめい 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

## イエスの言葉

「断食をするときには、あなたがたは  
偽善者のように沈んだ顔つきをし  
てはならない」

聖書(マタイ福音書6章16節)

牧師 河合裕志

イエスのいた頃断食ということが行われていた。何かを神に祈願するというような場合～罪の赦しとか戦勝とか雨乞いとか、いろんな場面でこれが行われた。全国的に守るべき年一度の断食日もあった。

こうした中、人一倍熱心に断食する人々がいた。ファリサイ派の人達。彼らは毎週月曜と木曜の2回食を断つことをした。実に宗教的、これは常人には一寸真似できない。みんなからこれはスゴイと見られていた。

ただこの点イエスの見方は違っていた。イエスには彼らがわざわざ「沈んだ顔つき」をしているように見えた。『偽善者は、断食しているのを人に見てもらおうと、顔を見苦しくする』。これがイエスの観察するところ。どうもこの人達は人に見てもらおうと、人からいかにも信心深いと認めてもらおうとしているのではないか。只今断食実行中。一目でわかるように沈んだ顔つき、暗い顔つき、見苦しい顔つきをする。中には頭に灰をふりまく人もいたり。

イエスにはこれは偽善にうつった。断食は本来神に向けてのもの。神に自分の熱心、真剣さを見て頂こうというもの。それがこ

の人々は人に向いてしまっている。神に喜んで頂こうということより人からの拍手喝采を期待している。

そこでイエスはこう言った。『あなたは、断食するとき、頭に油をつけ、顔を洗いなさい。それは、あなたの断食が人に気づかれず、隠れたところにおられるあなたの父にみて頂くためである。そうすれば、隠れたことを見ておられるあなたの父が報いてくださる』。

サッパリとした格好でやんなさい、やるなら。こっそりと人知れずに。こんな風になれば父なる神は喜んで受けてくれるよ。こうイエスは教えた。人の目よりも神の目を第一とせよ。人の誉れ以上に神の誉れを優先させよ。こうイエスは言いたいのだろう。イエスの助けにより少しでもそんな風になれば。

ところで断食そのものについてイエスは否定していない。しかし奨励しているようにも思われない。イエスはこんな発言をしている。『花婿と一緒にいるのに、婚礼の客は断食できるだろうか』(マルコ2・19)。花婿はイエス、客は弟子達を指している。断食、難行苦行はしなくていいよ。私がいっしょにいることを覚えてこの人生喜んで行きなさい、こうイエスは言ってくれている。

### 集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時